

■ ワークショップを終えて



参加者の皆様、ご協力ありがとうございました！

今回ワークショップを開催して、参加して下さった皆様から、いつも感じている想いや、今回初めて気がついたことなど、多くの意見を伺うことができました。また話し合いを通して、考え方を深めることもできました。

普段、何気なく見ている風景も、テーマを持って見ると新しく気づくことも多くあります。これを読んでいる皆様も、ぜひ、いつもとは違う視点で、お住まいの地域を見つめなおしてみませんか？

■ 次回のお知らせ

今回は、第1回の「まち歩き」の結果を踏まえ、「八帖地区がめざす風景（景観）づくり」を考えます。

八帖地区の個性や特色を活かすためには、どのような風景（景観）をめざしていったらいいのか、話し合います。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

八帖景観ワークショップ 第2回 開催のご案内

■ テーマ
八帖地区がめざす風景（景観）づくり

とき 平成21年10月25日 日
午後1時～ 3時間半程度

ところ 諏訪公民館

多数のご参加
お待ちしております！

※室内での話し合いを行います。
持ち物などは特に必要ありません。

◆ お問い合わせ先 ◆

岡崎市役所 都市整備部 都市計画課
電話：0564-23-6522 FAX：0564-23-6514
メール toshikei@city.okazaki.aichi.jp

■ 八帖景観ワークショップとは？

より一層魅力あるまちづくりを総合的に推進するため、市では、景観法に基づく景観計画の平成22年度策定を目指し、作業を進めています。

八帖地区は、本市を代表する地場産業のひとつである八丁味噌のまちであり、東海道沿いのまちとしても栄えてきました。近年では、テレビ小説の舞台になるなど、多くの人に知られ、これらの歴史や地場産業を活かしたまちづくりの取組みが行われています。

このような背景のもと、官民協働で特に景観形成を図る重点地区として八帖地区を位置づけ、地域の皆様のご意見等を反映した風景（景観）づくりを図るためのワークショップを開催しています。

■ ワークショップのスケジュール ■

9月 第1回 八帖地区の風景（景観）の現状について

10月 第2回 八帖地区がめざす風景（景観）づくり

12月 第3回 効果的な風景（景観）づくりの手法

「景観計画」に基づく「景観形成重点地区」の範囲や景観形成の方針やルールなどに反映



八帖景観ワークショップニュース

かいらん

Vol.1 2009年9月
編集・発行 岡崎市
都市整備部 都市計画課

14人の市民が参加し、様々な視点から八帖地区の風景の現状を見て歩いた結果をご報告します。



八丁蔵通り 光圓寺の前にて

地区の個性や特色を活かした八帖らしい風景（景観）づくりについて考えるために、「百年後の八帖地区の風景（景観）」をテーマにしたワークショップがおこなわれました。

■ 第1回ワークショップの概要

9月27日（日）の午後、第1回八帖景観ワークショップが開催されました。

第1回のワークショップでは「100年後の八帖地区の風景（景観）」を考えて、八帖地区（八帖町一帯）を2つのチームに分かれて歩きました。

各チームは、それぞれ100年後の八帖の風景に「残したい」もの、「いらない」ものというテーマで、まちなみを観察し、八帖の風景について話し合いました。

ワークショップの様子



チームごとに「まち歩き（景観さがし）」



話し合って「まち歩き」のまとめ



結果を発表

● スケジュール ●

1. はじめに（あいさつ）
2. 景観さがしのコツ
 - ・事例による説明
 - ・テーマごとのグループ分け
3. まち歩き（景観さがし）
 - ・まち歩きのルート確認
 - ・テーマ別のまち歩き
4. 景観さがしの発表と意見交換

■ワークショップの結果

「まち歩き」を終えて、各チームからたくさんのご意見がいただきました。以下に主なご意見を示します。

■百年後の八帖に…残したい

○八丁蔵通り

- ・カクキューのみでなく、まるや八丁味噌の敷地隣接まで延伸して蔵通りとして残したい。
- ・まるや八丁味噌の敷地隣接は道路の幅が昔のままであり、このまま残したい。
- ・光圓寺の白壁と門を残したい。
- ・光圓寺の白壁から見える、桜やもみじ、竹を残したい。
- ・石のベンチや灯籠を残したい。

○往還通り

- ・かつて東海道であった道の形状を残したい。

○古くから残る民家

- ・格子や平入りの屋根などが残る伝統的な様式の建築物を残したい。
- ・蔵を残したい。

○地藏堂

- ・人が居なくなり今は荒れているが、改修できるなら残したい。

○まちなみ

- ・落ち着いた色調のまちなみを残したい。
- ・地場産業である八丁味噌の蔵の風景を残したい。
- ・諏訪神社などの社寺は、当然残したい。



八丁蔵通りの風景



往還通りの古くから残る民家

■百年後の八帖に…いらない

○電柱や鉄塔

- ・電柱と電線は、歴史的なまちなみにはいらない。
- ・鉄塔や、高圧線はないほうが良い。

○駐車場の空き地

- ・駐車場など空き地はないほうが良い。

○マンションやアパート、工場等の建築物

- ・あまり高層の建築物はまちなみに合わない。
- ・形や色が派手な建築物はいらない。
- ・工場のスレートなどの素材の壁面は、歴史的なまちなみに合わない。

○中岡崎駅

- ・駅舎の雨どい等の青色は歴史的な雰囲気には合わない。

○住宅

- ・歴史的な雰囲気と異なる壁や家はないほうが良い。
- ・太陽光パネルは歴史的な雰囲気には合わない。

○ごみ置き場

- ・歴史を感じる石垣のまえにごみ置き場があるのはなくしたい。
- ・不用品などが野積みされたものは道沿いにないほうがよい。

○屋外広告

- ・派手な看板や屋外広告はないほうがよい。



駅前(電柱など)



駐車場、スレート等の壁面

百年後の八帖を 考えてみよう

住宅地

- ・歴史あるまちに合った、落ち着いた雰囲気にしたい。

気になるところ…

- ・駅舎の色調
- ・各住宅の色調やデザイン
- ・電柱や鉄塔
- ・マンションの高さや色
- ・ごみ置き場 など

往還通り・八丁蔵通り

- ・歴史を感じられる風景を残したい。

気になるところ…

- ・電柱や鉄塔
- ・駐車場や空き地
- ・コンクリートやタタンの壁面
- ・アパートの色や形
- ・看板や屋外広告
- ・不用品の野積み など

諏訪公民館

地蔵堂

諏訪神社

株式会社 まるや八丁味噌

合資会社 八丁味噌 (カクキュー)

中岡崎駅



●「残したい」「いらない」以外のご意見

もっと東海道らしさを出したい！

目立つ建築物は、板塀などで隠すだけでちがうのでは？

昔に比べると、空き地も増えました。もしかしたら…大きなマンションが建つかも…東海道らしさが消えないか心配だ…

なるべく多くの地域の人と一緒に考えていくべき問題だと思う。

今回の「まち歩き」では、東海道の歴史や、地場産業である八丁味噌の蔵並みに調和したまちづくりに関するご意見が多く挙げられました。また、ごみ置き場の問題など、日常生活に関連したご意見もありました。

テーマは「残したい」「いらない」の2つでしたが、この2つの視点をあわせていくことで、八帖地区のよりよいまちづくりの方向性が見えてきそうです。

今回の結果をもとに、八帖地区の風景(景観)をどのようにしていったらよいのか?ということをも第2回のワークショップでさらに考えていきます。



2つのチームが歩いたルート(時間の関係上、チームによっては歩いていない箇所があります。)